

2008 年度

科目名 基礎ゼミⅠ	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 高橋圭一
授業テーマ 近世文学の原本に触れる。変体仮名を読む。		
授業の概要と目標 私の架蔵する（自宅にある）小噺と俄（にわか、と読みます。近世後期から明治初期にかけて上方で出版された、コントの台本です）の板本の中から適当な作品を選んで、全員にコピーを配布し、翻字してもらいます。笑いをねらったものですし、絵本ですので、楽しみながら翻字してもらえればいいと思います。変体仮名が読めるようになることを、第一の目標とします。ⅠとⅡでは取り上げる作品が異なります。		
評価方法 翻字の出来具合に出席点を加味します。読みたいという気持ちを強く持って、毎回出席していれば、必ず読めるようになります。		
テキスト 上記の通り、コピーを配布します。	著者	出版社
参考書 『江戸語の辞典』は持っている、とても便利です。	著者 前田勇	出版社 講談社(学術文庫)
授業スケジュール・内容 1、コピー配布。翻字方法の解説。 2、講義。高橋による翻字。 3、 〃 4、受講生による翻字の発表・全員による修正。 5、 〃 6、 〃 7、 〃 8、歌舞伎のビデオかDVDを観ましょう。 9、続けて受講生による翻字の発表・全員による修正。 10、 〃 11、 〃 12、 〃 13、 〃 14、 〃 15、翻字の集成、全体の細部にわたるチェック。		